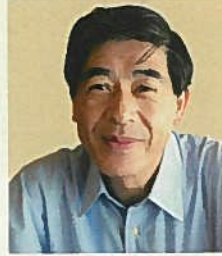


# 上田高等学校同窓会中南信支部会報

## 菅谷昭さん(60期)がプロジェクトXに登場



菅谷昭さん(松本市蟻ヶ崎台)が世界最悪の事故と

師たちは心打たれました。彼のアパートに医師たちが集まり、勉強会が開かれるようになり、勉強会が開かれるようになり、菅谷さんは彼らに自分の手術技術全てを伝えました。やがて菅谷さんたちの努力は、奇跡を生みました。小さな手術痕で美しく成長した娘さんたちでした。

いわゆるチェルノブイリ原発事故の起こったベラルーシに単身渡ることを決意してから、彼が率いる現地医師たちの5年半に及ぶ闘いと患者との心温まる交流の様子がNHK番組「プロジェクトX」チェルノブイリの傷 奇跡のメスで、5月13日放送されました。

菅谷昭さんには2001年の総会で、「私とチェルノブイリと小児甲状腺ガン」の演題で特別講演をしていただきました。尚、ベラルーシの医療活動では、同じく1999年の総会で講演していただきました信州大学医学部小児科医の小池健一さん(67期・松本市里山辺)も継続したサポートをされています。

その時、一人の日本人医師が立ち上がりました。菅谷昭さんです。現地に単身渡ることを決意しました。ベラルーシでのたった一人の闘いが始まりました。菅谷さんの高い手術技術や、患者との交流に若い現地医



診察風景



現地医師と...

## 第10回記念総会のご案内

11月8日(土) 午後1:30 受付開始

松本ホテル花月 松本市大手4-8-9 Tel 0263-32-0114

- 第1部 総会・講演会 午後2:00~4:00
- 第2部 懇親会 午後4:00~6:00
- 会費 ¥8,000(通信費含む、第1部のみは¥1,000)

同封のハガキで出欠・近況をお知らせください



発行人:小林茂昭  
上田高等学校同窓会  
中南信支部事務局  
連絡先:0263-85-1599  
題字:松岡翠風(仁太郎)氏  
南安曇在住(39期)  
全日展書法会副会長  
公募「全日展」特別  
選考審査員 他



### 記念講演 講師紹介



ねつやひろ  
根津八紘氏

医師 諏訪マタニティークリニック  
「人間の尊厳  
-不妊治療を通じて-」

‘42年 松本生まれ  
‘68年 信州大学医学部卒、同年 琉球政府立中部病院 (現沖縄県立中部病院)にてハワイ大学卒後研修コース  
‘71年 沖縄市、上村病院勤務  
‘73年 信州大学医学部産婦人科学教室助手  
‘76年 諏訪マタニティークリニック開設、現在に至る  
‘86年 減胎手術成功(日本初、世界第二番目)  
‘98年 非配偶者間体外受精実施、公表  
‘01年 代理出産公表  
母乳哺育を中心とした指導で「おっぱい博士」としても有名、また幼少期から指導を受けた絵は各種個展を通しプロ画家が認めるレベルで活躍。  
-著書-  
「三拍子自立分娩法」「目で診る乳房管理学」「乳房管理学」「母ちゃんの大八車」「減胎手術の実際-その間いけるもの」「先端医療を考える-生殖医療と向き合う、法と倫理を中心に」「元気な赤ちゃんは母乳で育つ」「悩む患者がいる限り私は続けたい」「言の葉つづり」「代理出産」 他



いちかわとみひろ  
市河富弘氏(54期)

アドエジソンズ顧問 関東支部  
「役者くずれの裏街道」

‘37年 丸子町生まれ  
‘56年 上田高校卒業  
‘57年 早稲田大学 文学部 演劇専修 入学  
加藤剛氏等と学生劇団「自由舞台」に所属  
‘61年 TBS東京放送 アルバイト  
‘63年 早稲田大卒業  
広告代理店第一広告社(現アイアンドエス)入社  
‘70年 広告代理店 アドエジソンズ 設立に参加  
‘90年 同社 常務取締役  
‘00年 同社 退任 顧問

現在、同窓会の同期会、五四期会(ゴシキカイ)のイベントプロデューサーとしても活躍  
西東京市在住



# 思い出深い松本時代

成澤文和 (六五期)



松本より東京に転勤となり、はや四年半が過ぎようとしています。その間に北浦和のマンションから南浦和の一戸建てに住居を移転し、今はすっかりさいたま市民として定着しつつあります。

思えば七年間の松本転勤時代に、上田高校の同窓生の方々と知り合うことが出来たこと(同窓会中南信支部市設立及びその後の会の運営の過程で)を一番の思い出と思っております。

支部長候補としては現支部長の信大小林教授にお願いしてあったので、支部長や幹事(私と塩川氏の他に)をだれにお願いするか、分厚い高校の同窓生名簿を見ながら候補者を小林教授や塩川氏と



いろいろ検討したのですが、ある程度目処がついたので、塩川氏と二人で手分けしてそれぞれの職場にお願ひに上がったりした結果、候補として副支部長には舟田、武村の各氏(後で中沢氏もやつと了承してもらいましたが)、又幹事には飯島、山口、金井の各氏に了承を得た次第です。

平成六年の春に武村氏の会社の松本駅前支社

# これも人生

林(丸山)聖絵(七六期)



子供の頃から運動は得意な方ではなかった。そんな私が、どういふ訳か高校に入學すると、バドミントン班に入ってしまった。びっくりしたのは中学校の担任の先生ばかりだけではない。

実際、決して優等生ではなかった私にとって、高校、大学生活を通して得た最高の宝物は友である。そんな大切な友人たちの間で、私は「良い奥さん」候補だった。大学であった



か多忙な部署に異動になった頃だった。鬼部長の下、休みも満足に取れず、「もう辞める!」と思いつつ、五年近く勤めてしまった。

今は薄給で名高い書店業界にいる。アルバイトの募集をすると、安い時給の割には応募がある。ほとんどは「本が好き」という動機だ。ところが仕事をしてみるとびっくりであ

ころ、快く引き受けてくださり心配することなく転勤出来ました。

それから支部の設立及びその後の会の運営に共にご尽力なされた舟田氏と飯島氏が故人となられたことは断腸の思いでありました。

中南信支部設立十周年を機にこれからますます支部がご発展することを心よりお祈り申し上げます。

# 中南信支部 第十回記念総会をむかえて

支部長 小林茂昭 (五四期)



中南信支部が発足して十年になんなんとしている。幹事会としては新しい会員の参加を渴望している。

もう一度原点にかえって、そもそも高校の同窓会とは何であろうかと考えてみると、同級生、同窓生に会い青春の思い出を語り合うところ。同窓のよしみで異種業の人たちと交わり合い、違う世界を知り交際の範囲を広げること。そして、自分の事業等を発展させるきっかけとなりうる。母校の現状を知り、母校を応援することが出来ること、などであろうか。

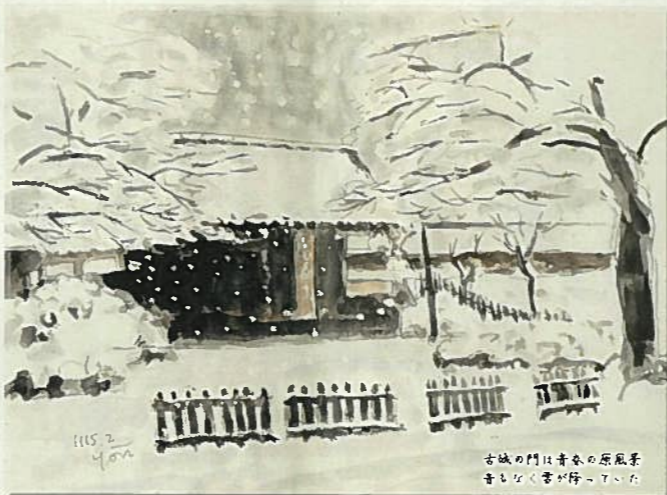
人それぞれ、小学校、中学校、高等学校、大学等の教育を経るなかで、いろいろな人と交わり、切磋琢磨してきている。卒業後の職業人としての人生と違つて、直接利害関係の無い学校時代に交友関係がもてたことが、各種の学校の同窓会がすべからず世に行なわれている理由

ではなからうか。そして、其の中でも、人生の中で最も多感な青春期に過ごした高校時代の同窓会では最も楽しい話題を共有することが出来る、私はいつも感じている。

ただ、職業上の利害義務等が無いだけに、同窓会にあえて出席する必要も無いことから、誰かが積極的に音頭を取つて、またそれに係る者が常に居なければ同窓会は長続きしないのも事実である。其の点、上田高校中南信支部は、最も新しい支部であるが、それでも無事今年で第十回総会を迎える。

その間、同窓生の移動はあつても、幹事の方々のご努力で内容のある支部の活動が出来てきたことに、心から感謝申し上げたい。今後は、役員の交代、新幹事の増員等を行い、幅広く、そして年代を広げてより多くの同窓生が会に参加できるように願ひたい。

同窓の諸兄諸姉も、交流の場を広げるよう各々努力しようではないか。



**懐かしい中南信支部の歩み**

総会では、校長先生による上田高校一年間の主な活動の報告があります。

今年の暮れのサッカー全国大会には? 春の選抜の予選の戦いぶりには? 来年の甲子園は? 受験レースの見込みは? クラブ活動の戦果は? 母校についての興味と話題は尽きません。

同窓会本部や各支部からも毎年代表者に参加したいと思っています。懐かしさの中に新しい出会いもある【総会】にぜひご参加ください。今回は第十回記念総会です。

# これまでの中南信支部・総会の歩み

- 1994年: 設立総会
  - 同窓会本部の要請を受け、舟田智理氏(51期)他9名の発起人で設立
  - 来賓含め50余名の参加
  - 小林支部長(54期)、舟田・武村(58期)副支部長、成澤幹事長(65期)でスタート
- 1995年: 第2回
  - 中澤副支部長(55期)を選任
- 1996年: 第3回
  - 記念講演の開始
  - 「Atlanta Olympicにおける救急医療」信大病院救急部副部長 奥寺敬氏
- 1997年: 第4回
  - 「長野オリンピックの救急医療とドーピング」信大医学部 小林茂昭氏(54期)
- 1998年: 第5回
  - 林副支部長(54期)を選任、久保田幹事長(61期)
  - 「テレビの現在・過去・未来」長野放送松本支社長 武村洋治氏(58期)
- 1999年: 第6回
  - 100周年記念事業実行委員会発足
  - 「安曇野の道祖神祈りと祭り」道祖神研究家 石田益雄氏(54期)
  - 「チェルノブイリ原発事故後のベラルーシ共和国に対する医療協力」信大医学部 小池健一氏(67期)
- 2000年: 第7回:
  - 100周年記念大会 中南信支部会報第1号発行
  - 「日本のグローバル化はなるかー海外生活の経験よりー」住商リース(株)社長 石井光春氏(54期)
- 2001年: 第8回
  - 「私とチェルノブイリと小児甲状腺癌」菅谷昭氏(60期)
- 2002年: 第9回
  - 「アメリカ人になったー日本人の私見」(株)パワースプロジェクト社長 Ms. Kimiko Powers (54期)
  - 「ハウスラブヨッホのホモ・ティロレンシスについて」彫刻家・画家 真道茂氏(54期)



**柳沢良吉(28期)**松本市沢村  
明治42年(09年)生。今年93歳となり遠出ができなく、ご無沙汰しています。元気で社会貢献できるのは、水石の趣味によります。

**岡田秀雄(42期)**上伊那郡南箕輪村  
(株)ジェルモ

喜寿を迎えました。60才で今の会社を設立し、70才で会長に退き、朝9時から午後の2時まで会社で新聞に目を通し、若い人たちの邪魔にならないようにすごしています。元気です。

**保科敦(44期)**諏訪市湯の脇

戦時中、我々の学年は名古屋近くの鳴海軍需工場へ零戦作りに動員(5年生全員)。上中の門をくぐつての勉強はあまりしませんでした。でも多少でも上中生として過せたことを喜んでいきます。遠い昔のことですが、今は病気がちで...

**村上道夫(48期)**松本市石芝

健康の為に、旅とゴルフに興じています。最近古寺を訪ねて歩いております。そのつながりが中国の古寺と、昔の名僧が中国に修行に出た足跡をたずねて、足を伸ばしている次第です。

**深澤昌美(49期)**上伊那郡箕輪町

古希を迎へ私の人生時計は23時を廻ってしまつたようだ。これからは40余年苦労のかけ通しだった妻の趣味と活動に協力しよう。そして慌てず騒がず自然体で週一ゴルフで体調を整へ、心身ともに健康で、最後(?)に与えられた民生・児童委員という仕事を通じて、少しばかりのご恩返しができたら良い、と思うこの頃です。

**青木久夫(51期)**岡谷市赤羽

長男が長野市に家を建て、一緒に住むことになりましたので、そちらに行くことになりました。ご出席の皆様によりしくお伝えください。

**掛川幸四郎(59期)**諏訪市湖岸通り  
健康回復のため始めた諏訪湖畔での早朝約7Kmのウォーキングが約四千五百日になります。もう少しで五千日皆勤になりますので、頑張りたいと思っています。

**前沢雅夫(66期)**高遠町  
通称マツバ調査と呼ばれるダイオキシン調査に、個人で挑戦中です。

# 会員短信

昨年の返信ハガキなどから



**松尾(土屋)恵子(70期)**辰野町  
辰野町教育委員会

中間教室で学校に行けない子達と過ごしています。5年目になりました。子ども達との生活から学ぶことの多い毎日です。

**鹿野(奥野)美智子(71期)**伊那市富良野  
伊那小学校

同封の案内に伊那の地にも同窓の方々が二十名程いらつしやるとのこと、懐かしい思いで拝見させていただきました。今はもう、あまり横のつながりはありませんが、心の中では支えになつていきます。

**高橋(小宮山)宏子(76期)**豊科町  
松本短期大学

いつも会報を横目でみておりましたが、同級生であった方の写真と文を読ませていただき感激し、私もハガキを書いています。松本市に4年、この町に嫁いで13年たちます。4人の子育てと仕事と研究と自分の勉強にと、慌ただしくすごしています。もう少し余裕ができたなら参加したいです。

**滝澤勇一(82期)**下伊那郡泰阜村  
阿南町立大下条小学校

会の通知、どうもありがとうございます。上田の地を離れてみて、こうして“上田高校の事”を本当になつかしく思います。下伊那にも十名を超える方がいらつしやるんですね。会が盛会になること、下伊那からお祈りしております。

**五十嵐俊二(82期)**諏訪市中洲  
セイコーエプソン(株)

きのこ採りにはまっています。やはり信州はいいですね。諏訪は温泉も多くあり、たまに会社帰りに行く温泉も楽しんでいきます。

**沓掛隆(82期)**南安曇郡三郷村  
豊科南小学校

上田を離れ、三郷村に家を建てました。9才の息子、7才、4才の娘と、私の母と妻の6人暮らしです。のんびりやっています。

**田玉勝己(84期)**下諏訪町  
岡谷南高校

諏訪の地に来て3年目となりました。すばらしい環境の中、ゆとりのない週5日制?長期休業を減らし、授業数は増え、補習・補習...それでも子供達の為になつてくれている...と思えます。野球部の監督のため、休日の総会に参加できず残念です。

**小林満奈美(84期)**松本市大村  
ス・イン人の友人が訪ねてくるのでその準備に追われています。

## 会員動向

### 小林支部長

**小諸厚生総合病院長に**

中南信支部の小林茂昭支部長(54期)が、今年3月信州大学医学部脳神経外科を定年退官、小諸厚生総合病院の病院長に就任。

### 小宮山淳氏

**信州大学学長に**

信州大学医学部長の小宮山淳氏(56期)が、同大の第13代学長に就任。

### 事務局から

● 支部の会費についてのお問い合わせがありました。現在中南信支部では、総会の会費で一年分の通信費・印刷費等を賄っております。多くの方の総会への参加をお願いいたします。

● 尚、同窓会本部では、来年度より同窓会費制(年に一口二千円で一口以上、80歳以上は五千円で以後免除)導入を進めております。できれば金融機関からの自動振替をご利用ください。

● 昨年の総会の折に木藤(高橋)栄氏(47期)から「野球部記念誌」10部の寄贈をいただきました。席上希望者に配布し、謝礼を会費に繰り入れさせていただきました。ありがとうございました。

文中カット

武村洋治氏(58期)